

すが、暖房機器がやや高価ということもあり、農家の木質ペレット導入は、現在のところ模様眺めの状況です。

木質ペレット等の代替燃料としての活用の実証試験は今始まったというような段階で、費用対効果及び今後の基礎的な需要等の予測がどういふふうになっていくか定かでないところもあり、活用についてはまだまだ課題が残っていますが、実証試験の状況、また国、県等からの情報の収集及び指導等を受けながらバイオマスタウン構想を視野に入れた削減のための一つの大事な方法ですので、十分に検討していきたいと考えています。



木質ペレットを燃料にした「ペレットストーブ」

## 農林水産振興

**問** 持続可能な農林水産業について

**答** 近年の農業農村を取り巻く環境は、担い手の減少や過疎化、高齢化とともに、原油高騰による生産資材の上昇、国際化の進展など、多くの問題を抱えており、農業経営の確立と農山漁村地域の一層の活性化を図ることが緊急の課題となっております。

このような現状から、市においては認定農業者や新規就農者などの確保、支援に努めるとともに、意欲のある担い手と生産組織の育成を図っていききたいと考えています。また、環境保全型農業への促進や食文化に根差した大洲ブランドの生産や開発、安全・安心な農産物の生産と農村環境の保全を推進していききたいと考えています。

現在、農家の経営安定を図るものとして、東大洲地区に地産地消を目的とした大型農産物直売所の



大型農産物直売所の建設予定地

建設を計画し、また、喜多山団地約4,000平方メートルにお茶の苗木を植栽し、実証事業を行っています。

この大型農産物直売所と緑茶栽培の2つの事業を現在の農業を振興する上での最重要課題と位置づけ、今後も持続可能な農業経営の方策の検討と推進を図っていききたいと考えています。



## 肱川の治水

**問** 治水対策事業について

**答** 肱川河川整備計画に基づき上下流のバランスを考慮しながら、堤防整備など治水対策事業が計画的に推進されています。

肱川最下流に位置する肱川右岸の長浜地区では、本年度より江湖の港付近から順次用地を取得し、継続して長浜中学校付近の工事が実施される予定です。

また、肱川左岸の沖浦地区についても、本年度から赤橋上流の狭窄部において工事に着手する予定と聞いています。



工事が進められている上老松地区の水防災事業



堤防整備が行われている多田地区

さらに、上老松地区においては、昨年度から事業に着手しており、引き続き土地利用一体型水防災事業等関連事業の推進を図ることとなっております。

なお、中流域の多田地区では平成21年度末の完成を目指し継続して工事が実施されているところであります。これらの計画が順調に進みますと、河川整備計画中期（平成31年）までには下流の治水安全度が特に低い地区の堤防整備やダム関連事業が完成見込みとなることから、その進捗状況に合わせた中流域の治水安全度